

## 地中海研究所活動報告

### □ 地中海文明研究会例会 □ .....

第20回例会 2005年4月23日(木) 15:00-16:30 (文学部39号館第5会議室)

田中咲子「古代ギリシアの墓碑画像 — 紀元前5世紀の運動選手表現」

第21回例会 2005年6月1日(水) 17:00-18:30 (文学部39号館第5会議室)

齋木俊男「日本人と古代ギリシア」

第22回例会 2005年6月25日(土) 15:00-18:00 (文学部34号館第3会議室)

黒田祐我「Hagareni (ハガル人) と Moabites (モアブ人)

— 12世紀前半カスティーリャ・レオン王国の対ムスリム認識 — 」

梶田知志「共和政後期における剣闘士 (gladiator) の「私兵」的利用について」

### □ シンポジウム □ .....

2005年6月11日(土) 13:30-17:30 (文学部39号館第5会議室)

地中海研究所・ヨーロッパ文明史研究所共催シンポジウム

「中・近世の地中海世界と日本 — *confraternitas* (信心会・兄弟会) を鍵言葉にして」

パネリスト

河原温 (都立大学/首都大学東京)

米田潔弘 (桐朋学園大学)

関哲行 (流通経済大学)

川村信三 (上智大学)

大橋幸泰 (早稲田大学)

根占献一 (学習院女子大学)

2005年7月9日(土) 14:00-17:30 (学習院女子大学2号館236教室)

ルネサンス研究会・地中海研究所共催研究発表会

研究発表

高津美和 (早稲田大学大学院博士課程) 「ベルナルディーノ・オキーノ (1487-1564) と『七つの対話』 — あるイタリア人宗教改革者の運命」

本間紀子（学習院大学非常勤講師）「ローマ期以前のラファエッロと物語画 — 銅版画〈嬰兒虐殺〉の下絵が描かれた背景」

高野義郎（横浜国大名誉教授）「〈受胎告知〉の図像における処女マリアと大天使ガブリエルとの配置について — 「行く」と「来る」、「絵解き」として、そして聖堂に飾られて」

□ イタリア言語・文化研究会例会 □ .....

連絡先：早稲田大学語学教育研究所内 イタリア言語・文化研究会

E-mail: <wasedaitalia@hotmail.com>

第 83 回例会 2005 年 3 月 19 日（土） 15:00～（戸山キャンパス 33 号館 2 階第 2 会議室）

三浦清美「アリストテレ・フィエラヴァンティ・ダ・ボローニャとロシア建築」

大崎さやの「カルロ・ゴツィのゴルドーニ演劇批評」

第 84 回例会 2005 年 5 月 14 日（土） 15:00～（戸山キャンパス 39 号館 5 階第 6 会議室）

高田和広「見ること／見られることをめぐって — ルイージ・ピランデッロ研究」

木名瀬紀子「英国の画家フレデリック・レイトンとイタリア」

第 85 回例会 2005 年 7 月 16 日（土） 15:00～（戸山キャンパス 31 号館 102 教室）

古田耕史「ジャコモ・レオパルディの『無限』をめぐって」

池上英洋「嬰兒を殺したのは誰か — 十五世紀北中部イタリアの諸相 — 」

第 86 回例会 2005 年 10 月 15 日（土） 15:00～（戸山キャンパス 33 号館 2 階第 2 会議室）

花本知子「アントニオ・タブッキ『トリストターノは死ぬ』（2004）について」

林要一「イタリア人と笑話（Le barzellette）」

第 87 回例会 2005 年 12 月 10 日（土） 15:00～（戸山キャンパス 34 号館 2 階第 3 会議室）

高津美和「16 世紀イタリアの宗教的亡命者 — ベルナルディーノ・オキーノの信仰 — 」

山崎彩「トリエステのズヴェーヴォ・ズヴェーヴォのトリエステ」

□ 地中海研究所研究員 □ .....

研究員	小林雅夫 (所長)
	市川慎一
	大高保二郎
	遠山一郎
	丸野 稔
	森原 隆
	酒井紀幸
	宮城徳也
	益田朋幸
客員研究員	篠塚千恵子 (東北芸術工科大学教授)
	根占献一 (学習院女子大学教授)
	金  賢 (高麗大学教授)
	アントニオ・サルトーリ (ミラノ大学教授)
	ジュゼピーナ・チェルツリ (元東京イタリア文化会館館長)
	シュテファン・シュタイングレーバー (元東京大学教授)

(編集後記)

「早稲田大学地中海研究所」は、プロジェクト研究所として開設5年目を迎えています。残念ながら、所長が一時期病氣・休職だったこともあって、研究所の活動に不満な面も少なくなかったと反省しています。しかしながら、苦しい財政事情の中でも毎年『紀要』を発行できたことはうれしいことです。この『紀要』の掲載論文は、現在の国際間の慣習に従って、最初から日本語以外にも英語・フランス語・ドイツ語・イタリア語・スペイン語の使用を認めたために諸外国語の論文が掲載されることになりました。そして、全論文がPDF論文となっています。なお、第4号は、盛況だった『シンポジウム』の内容と、研究所内での読書会の成果でもある「翻訳」の掲載を中心とした『特集号』にしました。『紀要』の編集は、それぞれ各号を担当した岩田圭一氏、梶田知志氏、福山佑子氏らの努力に支えられています。『紀要』に関係した方々に感謝します。

小林雅夫

地中海研究所ホームページ : [http://www.waseda.jp/prj-med\\_inst/index.html](http://www.waseda.jp/prj-med_inst/index.html)

※この『紀要』は、早稲田大学特定課題研究 (共通研究) の 成果である。